

目次

『詩經』に於ける祖靈の依代に就いて……………	遠藤寛朗	一
— 裳裳者華篇を中心として—		
童女君の出産……………	青柳まや	二九
— 『日本書紀』雄略天皇元年三月条記事について—		
三巻本『枕草子』「舞は」章段のしくみについての私見……………	原由来恵	五三
芥川龍之介『蜃気楼』の内と外と間……………	大谷哲	七一
— 〈詩的精神〉をめぐって—		
戦時下〈皇国神話〉の創成と普及……………	土佐秀里	九五
— 香川頼彦『家庭読本神代の話』をめぐって—		
民間暦 昭和二十四年「やすくに暦」……………	大谷光男	一二一
— 暦注に問題多く不採用—		
「十七帖の研究」(二)……………	内田征志	一二七
— 三井聴水閣本からの筆意考証と日本近代大家臨書の一考察—		
〈彙報〉		
二〇一三年度研究所報告・投稿規定・編集後記		
小渕政権期の文民警察官派遣政策……………	庄司貴由	(1)
— 国連東ティモール派遣団(UNAMET)参加問題をめぐる内政と外交—		
プラザ合意とバブル期の金融政策……………	飯田幸裕	(21)
ソ連の脅威のグローバル化と中曽根内閣の対応……………	佐藤晋	(39)
「我々の家、我々の土地」中国の住民運動と市民社会……………	何鳴	(61)
— 中国人の法意識(七) —		